

ウレテックス #500

幅広い素材に適応可能な2液形ポリウレタン塗料。

優れた塗膜性能と要望に応える幅広い色彩に対応。肉持ち感のある美しい仕上がり外観が得られます。

試験成績表（社内試験による）

容器の中での状態	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする		合格
乾燥時間（h）	標準状態	8以内	合格
	5℃	16以内	合格
ポットライフ	5時間で使用できるものとする		合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする		合格
隠ぺい率%	90以上		合格
鏡面光沢度（60度）	80以上		合格
耐衝撃性（落下式）	300g×50cmの衝撃で塗膜に割れ及びはがれが生じではない		合格
付着性（クロスカット法）	分類1以下であるものとする		合格
重ね塗適合性	重ね塗に支障があってはならない		合格
耐酸性	5%硫酸に接したとき、異常がないものとする		合格
耐アルカリ性	5%水酸化ナトリウムに接したとき、異常がないものとする		合格
耐湿潤冷熱繰り返し性	耐湿潤冷熱繰り返しに耐えるものとする		合格
NCO基の定性	NCO基があること		合格
促進耐候性	サンシャインウェザーメーター300時間照射で、膨れ・割れ・はがれ・白化がなく、つやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする		合格
耐候性	1年間の屋外暴露試験で塗膜にさび・膨れ・割れ・はがれがないこと		合格

標準塗装仕様

塗装工程	塗料名	混合比	塗装回数	標準使用量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	ディスクサンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパーなどで錆、黒皮をできるだけ除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	エコパワー #200	100 : 13	1	0.22~0.26	14時間以上 7日以内	エポノックス シンナー	0~5	ハケ、ウールローラー
上塗り	ウレテックス #500	9 : 1	1	0.11~0.13	4時間以上	ウレテックス #500シンナー	5~15	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり(15kg) / 1工程
ウレテックス #500	16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg） 4kgセット（主剤3.6kg 硬化剤0.4kg）	各色	つや有り	123~145m ²



概 要

主用途	一般鋼構造物、各種プラント、重車両、軽合金製品、一般プラスチック製品、一般建築物、無機建材など
主要組成	ウレタン系
荷姿	16kg（主剤14.4kg、硬化剤1.6kg） 4kg（主剤3.6kg、硬化剤0.4kg）
色	白、原色、各色
仕上がり	つや有り
塗装器具	はけ、ウールローラー、エアスプレー
希釈剤（希釈率）	ウレテックス#500シンナー（はけ、ローラー5～15%） （エアスプレー20～40%）
間隔時間（23℃）	工程内4時間以上、最終養生7日以内
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず
防火認定	該当せず
消防法表示	主剤 第4類第1石油類 硬化剤 第4類第2石油類
適合下塗材	スーパープライマー、S V2000、S V2500、U X-エンビ シャットクリヤー、エコパワー#200
ポットライフ	6時間（20℃）

施工上の注意事項

- ①塗装時 0℃以下、塗装後 0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度85%以上の場合は施工しないでください。
 - ②水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
 - ③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
 - ④硬化剤は湿気で変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
 - ⑤専用シンナー以外での希釈は絶対に避けてください。
 - ⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
 - ⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。
 - ⑧溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。
 - ⑨屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
 - ⑩塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
 - ⑪飛散防止のため必ず養生を行ってください。
 - ⑫ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
 - ⑬汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
 - ⑭塗料は内容物が均一になるようによくは混ぜてください。
 - ⑮開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
 - ⑯塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。